令和6年度くずし字入門講座

第3回

頻出する文字・言い回し

日時:2024/06/16(日)10:00~11:30

会場:福井県文書館研修室

※当日の資料をWeb用に改めたものです

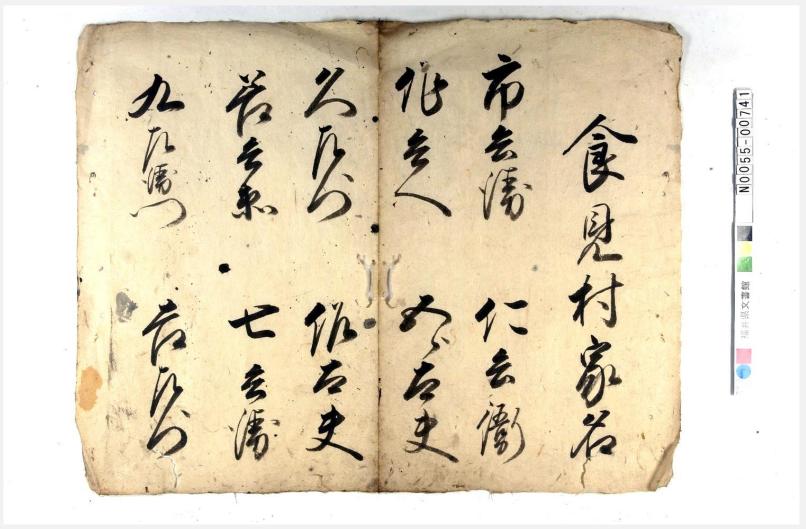


本講座の流れ

- 1 「手習い」を読む
 - ◆江戸時代の人名に慣れる

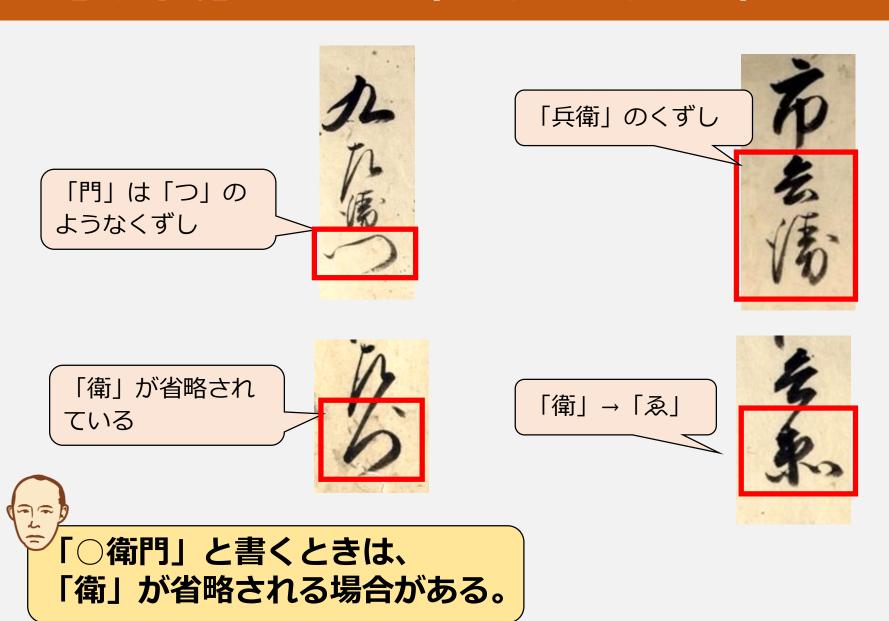
- 2 「三行半」(離縁状)を読む
 - ◆頻出文字や言い回しに慣れる

1 手習いを読む

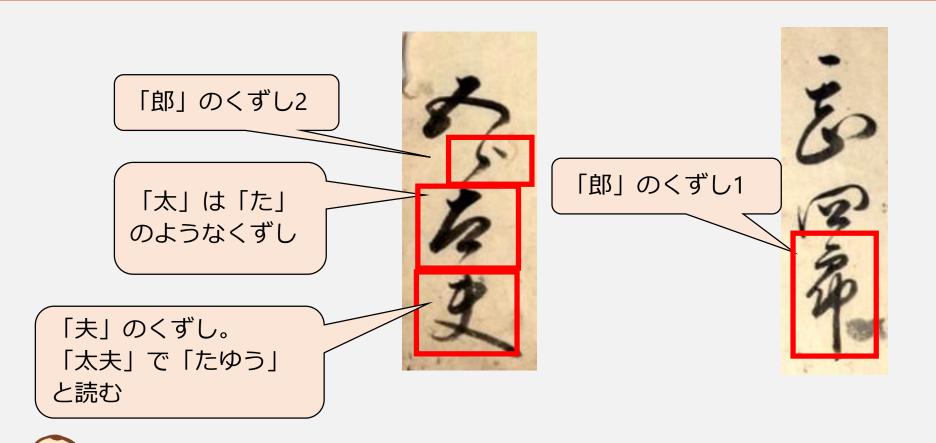


桜井市兵衛家文書「(手習手本断簡、食見村家名、人名、消息文)」 (N0055-00741)

【講義】人名(兵衛、衛門)



【講義】人名(郎、太)



「郎」はくずれて小さく書かれることもある。

【講義】人名(右、左)

「左」の「工」の部分が斜め に跳ね上がっている



「右」の「口」 の部分のくずし



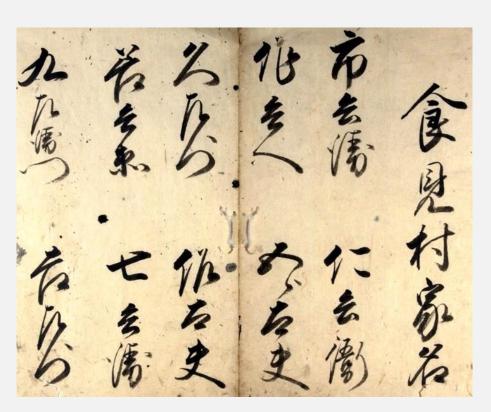


<右と左の見分け方>

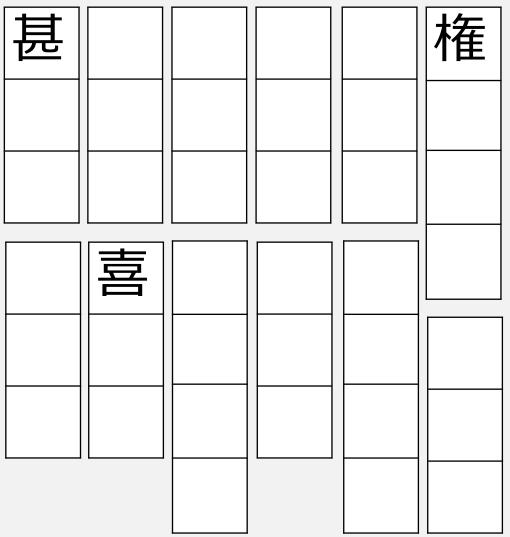
- ①「口」か「工」か。
- ②「左」は「工」の部分が斜めに 跳ね上がることが多い。

【演習1】

九	善	久	作	市
				兵
				衛
	七		五	<u></u>
吉		作		



[演習 2]





2 三行半 (離縁状) を読む

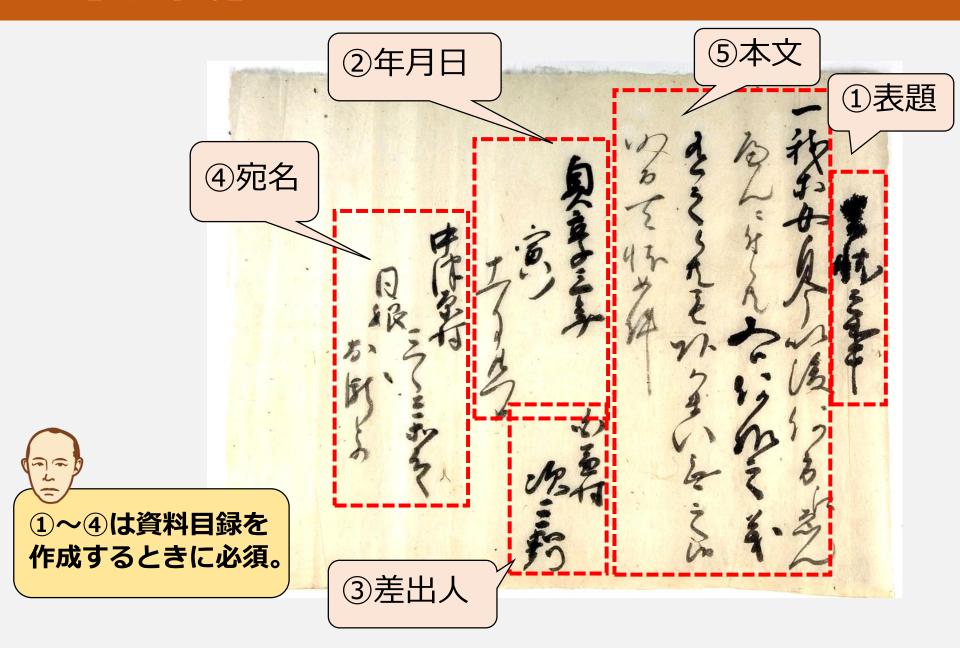
「**三行半(みくだりはん)**」とは、江戸時代に庶民が離婚する時、夫から妻(または妻の父兄)にあてて交付した文書。名称の由来は本文がおおむね三行半で終わることから。



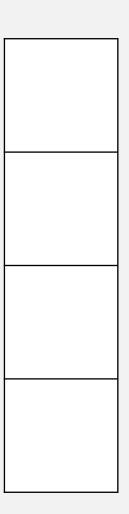
2008年の調査時点では「最古の三行半」とされていた!

玉村九兵衛家文書「去状之事(離縁状)」(D0075-00171)

【講義】古文書の型式

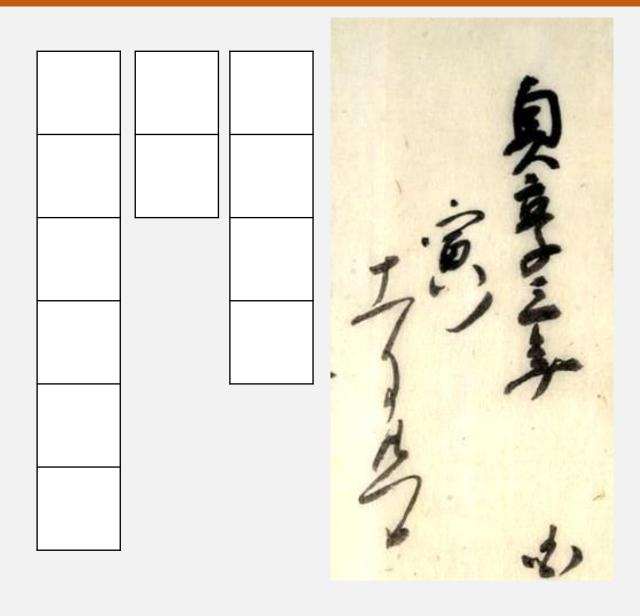


①表題

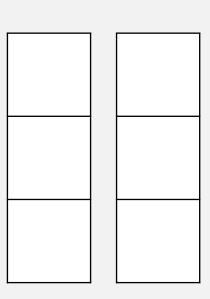


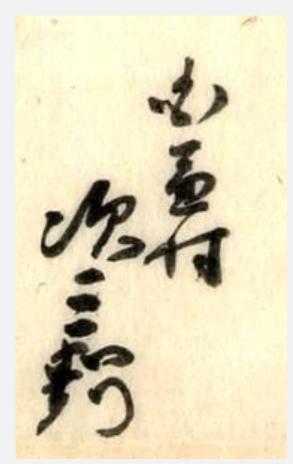


②年月日

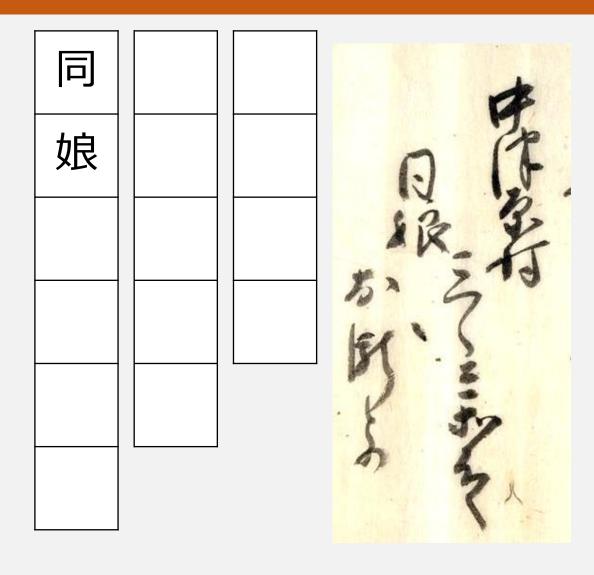


③差出人





4宛名



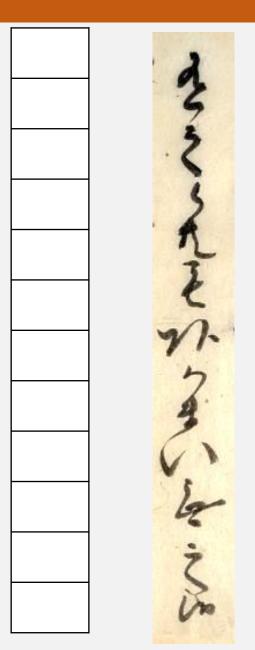
⑤本文 (一行目)



⑤本文 (二行目)



⑤本文 (三行目)



⑤本文(四行目)



本講座で使用した資料

・桜井市兵衛家文書「(手習手本断簡、食見村家名、人名、消息文)」 (N0055-00741)

https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-506527-1-p1

・玉村九兵衛家文書「去状之事(離縁状)」(D0075-00171)
https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-370787-1-p1

(URLは2024年7月17日参照)



参考文献

<書籍> 入門者向けとしておすすめです!

- ・『三くだり半からはじめる古文書入門』(高木侃 柏書房 2011年)
- ・『古文書はじめの一歩』(油井宏子 柏書房 2008年)
- ・『近世史を学ぶための古文書「候文」入門』

(佐藤孝之 吉川弘文館 2023年)

<インターネット>

・福井県文書館WEBサイト「くずし講座資料(WEB版)」 トップ ⇒ 展示・講座 ⇒ くずし字講座 ⇒ 過去のテキスト

https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/bunsho/category/kouza/26716.html

(URLは2024年7月17日参照)